

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学部	システム理工学部		
・ 学科(コース等)	生命科学科生命医工学コース		
・ 学年(渡航開始時)	3年		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	ドイツ		
・ 都市名	コーブルク		
・ 留学先大学名	コーブルク応用科学大学		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2024年9月下旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期 ☐ 博士以上 ☒ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	もともとヨーロッパでの生活に興味があり、留学先はヨーロッパの国から選ぼうと考えていた。国自体の治安の面を考えてドイツの大学の中から選ぼうと考え、宿泊先が学校から確約されていること、自分の英語の学力と学科の学習内容に似た講義が受けられると考えたためこの大学を志望した。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に足りており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	システム理工学部の国際プログラムに所属しており、1セメスターの留学が必須であったため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

修士課程の英語で開講されている講義に参加した。自分が参加した専門の講義ではすべて教科書を用いずPCなどで資料を参照した。講義は基本的には対面で行われたが、いくつかの講義はオンラインで行われていた。授業時間は基本的には1コマ90分で構成されている。Learning Agreement を留学先大学に提出するときにホームページを用いて参照した科目が実際に留学するときに履修することができなかった。ドイツに到着してから10/1(セメスターが始まる日)になるまで何を履修することができるかわからなかった。特定の講義を受けることを志望動機にするのであれば開講されるかどうかを留学先に確認するのをおすすめる。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	German Intensive Course	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	ドイツ語を学ぶ講義。1コマ2時間半(休憩あり)で行われ、週に2回ある。教科書を用いて講義を行い、講義はすべてドイツ語で行われた。CFERのレベルによってクラス分けがなされており、自分はドイツ語の学習経験がなかったので一番初級のコースを選択した。多くの留学生在が参加していた。学期末はドイツ語検定A1レベルのPCを用いた筆記とグループ口述試験があった。		
科目名②	General English Course	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	英語を学ぶ講義。講義はすべて英語で行われる。B2レベルの内容を扱う。少人数講義で参加型の講義形態だった。文法・文章問題に加えライティングのコツなどを扱う時間もあった。学期末は記述式のテストを行った。		
科目名③	Flow Cytometry	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	フローサイトメトリーという細胞や微粒子を液体に流しながら、レーザー光線を使ってそれぞれの特性を解析する技術を学ぶ講義。オンライン形式でZoomを用いて講義を行った。基本的には日本の講義の方法と同様で教授の説明を聞く形。学期末はPCを用いた記述式のテストを行った。		
科目名④	KI-basierte Modellierung und Analyse von komplexen Netzwerken	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	"AIによる複雑ネットワークのモデリングと分析"という名前の講義。Pythonを使い微生物データを用いて病気推定のプログラムの作成を行った。Pythonを用いたプログラムを作成するときに生成AIも使用することができたのでプログラミング経験がないからと言って不安になる必要はない。期末は作成したプログラミングについてのレポートと作成したプログラミングのコードの提出であった。		
科目名⑤	Medical Imaging Technology	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	医療画像技術の講義。日本での講義と同じように教授の説明を聞く形。画像処理の基礎を学んだ。ImageJ Fijiという画像処理ソフトを用いて実際に画像を処理する工程も実践した。		
科目名⑥	Neurodegenerative Erkrankungen	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	"神経変性疾患"を扱う講義。トピックがいくつか与えられその中から一つ自分が発表するトピックを選び英語で20-30分間程度スライドを用いてプレゼンテーションを行った。トピックの内容としてはALSなどの運動ニューロン疾患の概要を取り扱うものやメカニズムを取り扱うものがあった。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

定期的に留学生同士で交流する機会があり、アイススケートやクライミングなどを行ったりした。また、現地の人と交流する機会もあり、動物園などに連れて行ってもらうこともできる。交換留学生の人数が比較的少なかった。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

学部生として留学したつもりでいたが実際は修士の開講科目をとることになり少し困惑した。もともと取ろうとしていた科目が取れなかったので前述の通り、特定の科目を受講したい場合は事前に協定校を確認をとることをおすすめする。多くの短期交換留学生が、取りたかった科目や自分の専門に関わる科目が取れなかったということを言っていた。
コーブルクは比較的安全で一人で歩いても特に危険は感じなかった。街自体も城があったり、歴史があるため歩くだけでも気分転換になるだろう。ドイツ人は老若男女英語を話せる人が多かったのでドイツ語を無理に学ぶ必要はないが、日常で目にする言語は基本的にドイツ語なので余裕や興味があったら学ぶとよいかもしれない。
約半年間日本ではない異国の地で暮らしてみて自分の視野が広がり、いろいろなことに対して行動を起こそうという姿勢につながったと思っている。自分は特別英語が得意というわけではないが、半年間の留学を通じて語学力、適応力のほかにその姿勢を得られたという経験は今後の自分に役立つと考える。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- 協定校への出願には特に苦労はない。協定校からの案内に沿って出願を進めていけば基本的な問題ない。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
- ビザはドイツに来てから発行しました。協定校の国際課の方が担当してくださり、必要書類の作成と実際に役所に行って手続きするところも協力していただきました。ビザ申請にはパスポートのほかに留学する期間分(6か月分)の十分な資金があることの証明が必要です。一般的にはドイツでは閉鎖口座と呼ばれるものを作っていて自分のときは月額992ユーロ×6か月分(約100万円)を留学前に入金した。健康保険加入の証明も必要で、芝浦で入る保険ではカバーしきれない部分があるらしく、ドイツの保険(TKなど)に加入しておくともスムーズにビザの申請が進む。自分が使用したTKでは月額約140ユーロかかった。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
- 閉鎖口座の開設にはExpatrioを利用した。Expatrioではドイツの健康保険の加入と普通銀行口座の開設が可能。自分は健康保険の加入もExpatrioで行った。国際送金(閉鎖口座や大学への送金)などではWiseを利用した。Wiseはマルチカレンシー口座を作ることができ、自分は日本円の口座とユーロの口座を作った。閉鎖口座から毎月送られる資金をWiseのユーロ口座にいれ、普段の生活資金もWiseのデビットカードを用いた。日本でアカウントを作るとApplePayなどの電子決済が利用できないのでリアルなカードを作って持っていくことが必須。Wiseはクレジットカードと比べてユーロで決済するときに余計な手数料がかからない。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
- 協定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
- 出願後に協定校から案内があった。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。
- ニュルンベルク空港を利用した。空港から最寄りであるコーブルク駅まで電車で約1時間半。DB Navigatorというアプリで登録をすれば簡単にチケットを買うことができる。駅で協定校の担当の方と合流してその後バスに乗って約10分で行く。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。
- 徒歩で通学。大学の敷地内にあるので5分程度で目的の教室にたどり着ける。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
- 1Kだったが十分に広さはあった。自分の年はフライバン、鍋と簡単な食器類とリネン類は用意されていた。Wi-Fiのルーターが各部屋に設置されていて、自由に使うことができ、通信速度は特に不満は感じなかった。寮から駅の反対側に行くことになるが、食品や日用品などは比較的簡単に手に入れることができた。バスと徒歩で片道約30分だった。駅までのバスは学生証があれば無料で乗ることができた。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥23,000	入学手続き初期費用
往復航空券代(往復)	¥230,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥210,000	AIG損保【芝浦指定の保険】(100,000円)+TK【ドイツの健康保険】(703€)
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥16,000	ビザ申請費用(100€)
計	¥479,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥40,000	
食費/月	¥40,000	
その他/月	¥70,000	旅費、交通費など
計	¥150,000	

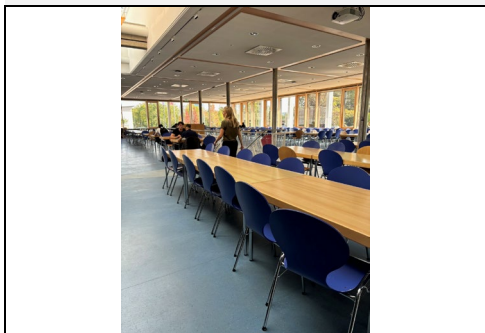
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学の校舎の写真を撮ってなかったため
食堂の写真 かなり広い

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

自室(入居時)の写真
ソファベッドだった

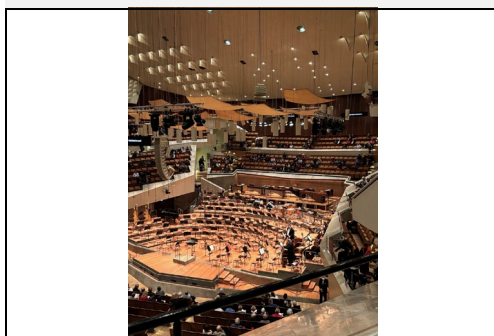
その他、任意の写真



説明文

ノイシュバンシュタイン城
コーブルクからは1泊2日目安で訪問できる

その他、任意の写真



説明文

ベルリンフィルハーモニー交響楽団の
演奏を聴いた

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。